

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	大津市立 晴嵐保育園
代表者氏名（管理者）	園長 永阪 幸子
法人名	大津市
定員（利用人数）	140名
施設・事業所所在地	滋賀県大津市光が丘5-10
T E L	077-534-0707
F A X	077-534-0707
電子メール	otsu1422@city.otsu.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.otsu.lg.jp/kosodate/yoho/hoiku/annai/index.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和元年12月2日・12月3日

3 評価の概要

○ 総合評価

晴嵐保育園は、昭和47年に開園した大津市立の保育園です。平成9年に現在の場所へ新築移転しました。大津市南部に位置し、近隣には瀬田の唐橋、石山寺、御霊神社、園山公園、ふれあい公園、幻住庵、国分聖徳太子堂等など歴史ある文化財と豊かな自然に囲まれた保育園です。令和元年の保育テーマとして『つ・な・が・る ～あふれる思い 心豊かに 表現しよう～』を掲げ、体験を通し気づいたこと、感じたこと、思ったことをありのままに表現できる子ども、いろいろな人とのつながりを通して「愛されている」と実感でき、自分や他者を共に好きになれる気持ちを持てる子どもを育むことがテーマに込めた職員の願いです。常勤保育士、非常勤保育士、短時間勤務保育士、保健担当、調理担当職員等、およそ40名の職員が協力しながら、子ども一人ひとりの秘めた力を引き出す保育に取り組んでいる保育園です。保護者へは、写真やイラストを効果的に使った「ほっこりにここにこ」、「みい一つけた」、「れつつご〜」、「わくわく通信」、「じゃんぷ」などの楽しい名前のクラス日より、「元気ワクワクつうしん」、「ほけんだより」、集合玄関の壁面を使った様々なお便り等の掲示を通して、園での子どもたちの様子を伝えたり、家庭での親子の会話の話題等を提供しています。

○ 特に評価の高い点

① 子どもの主体性・多様性を認め成長過程に沿った保育実践と地域交流

保護者と園職員、地域住民などが協力しながら子ども一人ひとりの成長発達を温かく見守っている様子が見て取れました。「一人ひとりを大切にし共に育ちあう保育」をスローガンに、年齢別保育とともに異年齢交流による育ちあい（6園交流・5-5交流・保幼小中高連携活動・地域の老人クラブや民生委員児童委員との交流等）を大切にした保育に取り組んでいます。また、子どもが自らの遊び方を自分自身で選択しやすいよう、判りやすい絵やイラストなどの視覚に訴える工夫をしています。

② 園独自の子育て支援と一人ひとりを大切にする保育

今年度は仕事等によって参加しにくい保護者が、より参加しやすくするため、6月・10月・1月と3回に分け各2日の選択保育参加（参観）を行った。6月には「砂・水あそび」、10月は「運動あそび」、1月は「お正月あそび」と内容を替え普段の園での子どもの自然な様子を保護者が参観できる工夫を行った。保育参加（参観）の際は、給食の試食会も実施した。また、アンケートも行い、日ごろの食事に対する感想を把握したり、半日の参観も可能として午後からの就労保障をした。秋の運動会もイベント化にするよりも日常の保育を保護者等に観て欲しいとの意図で、平日に開催した。今回の園評価の際には、不安げな子どもと保育士が一对一でゆっくり向き合い

、子どもの言葉に耳を傾けている場面を見ることができた。このように子ども一人ひとりの思いを聞き取る、あるいは、障がいのある子どもや配慮が必要な子どもにも、じっくり関わる個別保育が行われていることが確認できた。

③ 職員向け研修の充実と保育の質の向上への取り組み

公立保育園のメリットとして職員向けの研修体制が充実している。園内研修だけでなく、市としてのキャリア別年間研修計画が立てられ、職員個々の担当・経験等に応じた研修計画（新任研修、対象別研修）のもと研修目的を明確にして、職員を外部研修へ積極的に派遣している。また、園長は全職員と個別面談を行い職員の意見や悩み等を聞き取っている。必要時にはその都度職員との面談を行い、職員が保育現場での役割を理解できるよう気づきを与えることで、園の保育の質の向上へ繋げている。

④ 園を取り巻く環境を活かした保育

園の周りには寺社や公園、消防署、小学校、高等学校など数多くの社会資源があり、園児の外出先や交流先には恵まれた環境である。散歩も単なる外出だけでなく、ワクワクする体験を子どもたちが感じ取れることを目的としている。また、近隣の小学校との交流会の実施や、外出時の事故防止に向けた民生児童委員との連携モデルケースとして今年度から「キッズ・ガード」事業にも取り組んでいる。

○ 改善を求められる点

① AEDの設置場所の周知

保育園の目の前に消防署があるため緊急時には安心できる環境ではあるが、園内にAEDが配置されていることを、保護者や地域住民へアピールすることは必要だと思われる。園の玄関扉に掲示板を付けたり、クラスだより等にAEDが園内にあることを記載されることをお奨めします。

② 意見箱の設置や保護者への情報の周知方法

今回の第三者評価保護者アンケートの中にも、「直接意見をしづらい」とのコメントがあった。園内の誰が入れたか分からない場所を検討され、意見箱の設置を期待したい。また、保護者とのコミュニケーションの機会（朝夕の送迎時・クラス懇談会・保育参加等）を持つことに努めていますが、「日々の様子についての連絡・報告がない」と感じている保護者が存在することも事実です。日常の子どもの様子や園の保育に対する理念や保育目標、保育テーマ等だけでなく大津市立保育園としての今後のあり方・運営方針なども含め、ホームページだけでなく様々な紙媒体やSNSなども活用され、保護者や地域住民へ周知、広報されることを望みます。

③ 災害時対応や防犯・事故防止に向けた具体的対策の検討

大津市が策定した「危機管理マニュアル」に則って、「晴嵐保育園年間避難訓練実施計画」を立て、予告なし訓練も含め毎月何らかの避難訓練を実施している。更に、公開避難訓練の

実施や緊急時を想定した引渡し訓練など、避難訓練への保護者や地域住民の参加を得て、地域全体で子どもを守る体制づくりが望まれます。また、散歩時に道路の危険個所の把握を行っているとのことで、その危険個所の情報を保護者や地域へ公開され、地域全体の危険場所マップなどを作成されることを期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

取り組んできた内容に高評価をいただいたことに対しては、さらに今後も大事にすすめていきたい。また、職員間でさらに子ども・保護者の安全基地となる運営に取り組んでいきたい。

課題に対しては、AEDの表示を門扉に貼り付けることで、周知できるようにした。また、保護者の思いや意見など、いつでも気軽に保護者が発信できるように、意見箱（らんらんBOX）を設置し、送迎時にも一人一人の保護者に対して丁寧な対応につなげたい。2月に予定している発表会への参加状況を把握したりすることで、会の持ち方への工夫に役立てるように取り組んでいるところである。

避難訓練では、今まで取り組んでいない引渡し訓練も1月に実施し、有事の際にも対応できるように取り組んでいくことと、ハザードマップの表示を今後作成していきたい。